



教育目標

ひのつこ 世界へ
らこうとも
びょうを
くろう夢
こえよう自分を

紙面から

- 西田委員年頭所感 他 1
- ブリティッシュ、ひのつ子ががんばってます..... 2
- 市教育センター活動報告、東京駅伝大会 他・3
- 令和元年度中学生と作家の交流事業 他 4

年頭所感 人生を潤す「読書」



日野市教育委員会委員
西田 敦子

年が明けて間もない日です。学校帰りの小学3年生ぐらゐの男の子と女の子の3人が、楽しくてたまらないうような表情で、歌いながら通り過ぎて行きました。きっと学校でよいことがあったのでしょう。

昨年は、小学生も中学生も、様々な場面で互いに学び合い高め合って、力いっぱい頑張りました。今年のいつもの成長が楽しみです。

年末に新聞は、OECDによる国際的な調査で日本の若者の読解力が順位を下げたことを大きく報じました。文部科学省は、SNSなどによる短文のやり取りの増加で、長文を読み書きする機会が減少したことを一因に挙げ、有識者は「読書」を勧めています。

日野市では、学校と市立図書館が連携して、子供の豊かな読書環境づくりに力を入れてきました。

学校は、読み聞かせ、朝読書、読書週間などを児童生徒と共に進めています。市立図書館は、中学生と作家の交流やヤングスタッフの活動、暗い夜の図書館に灯りをともして朗読をする「光の森」イベントなどの新たな企画に、若者と一緒挑

戦しています。

市立図書館の報告によると、図書館が小学校に貸し出した本は、殆どの児童に読まれており、中学生には読書活動を通して、学校を超えた繋がりが生まれているようです。

中学3年生の好きな作家には、最近の人気作家に続いて文豪の芥川龍之介、夏目漱石、太宰治が名を連ねていました。ひのつ子の読書活動の深さを感じます。

また、ある小学校で行なった「学校大好きビンゴ」では、図書室が大好きベスト3でした。これも嬉しいことです。

今年もひのつ子たちには、本をたくさん読んで心を躍らせ、共感したり想像力を膨らませたりしてほしいと思います。そして読んだら、友達や家族、先生と語り、本を読む楽しさを二重に味わってもらいたいものです。

「読書」は、読解力や表現力、言葉の力を育てますが、それ以上に人生を潤してくれれます。私にも、戦地から戻った父親が初めて買ってくれた本や友達と貸しあって読んだ本が今も心の中にあり、時折、温かな気持ちにしてくれています。

第11回 児童・生徒による プレゼンテーション大会を開催しました

1月18日(土)、第11回児童・生徒によるプレゼンテーション大会を開催しました。

子供たちが、学習活動や地域との関わりの中で、学んだことや感じたこと、考えたことなどを自分たちの言葉で日野市の子供たちや市民の方々に発信しました。

『未来につなぐ創造力プロジェクトメンバー』

『未来につなぐ創造力プロジェクト』

今年度8月に宮城県気仙沼市内中学校との対話を通して、感じたことや今の自分たちにできることを考え、行動したことを発表しました。

●旭が丘小学校

『バリアフリーを考えよう』

4年生の総合的な学習の時間で学んだことを基に、バリアフリーについての課題と解決方法を考えて発表しました。

●日野第八小学校

『わたしたちの用水を守り続けるために』

自分たちの地域に広がる用水路について、改めて考えたことや地域の役に立てよう実行するための過程を発表しました。

●日野第七小学校

『多様な人たちが生きる世界』

二期期の総合的な学習の時間で得た体験を通して、世の中には自分たちとは境遇の異なる人がいることや、その人たちを支える仕組みがあることを調べ、発表しました。

●南平小学校

『いつか命につながるもの』

『すずかけ米大作戦から学んだこと』

4年生が米作りを1年間通

して行った体験の中で、学んだことや伝えたいと思ったことを工夫してまとめて発表することができました。

●東光寺小学校

『わたしたちの東光寺小エピソードIII 未来に向けて』

4・5・6年生のメンバーで東光寺小の未来を思い描きながらイメージを膨らませて、具体的な考えを発表することができました。

●夢が丘小学校・七生緑小学校

●日野第三中学校

『共に地域に生きる』

よりよい地域にするために、共生社会の実現に向けて考えたこと、活動していること、経験から学んだこと等を3校合同で発表しました。

●日野第四中学校

『地域との関わり・社会での学び(職場体験に行つて)』

地域とのつながりや働くことの意義について自分たちが感じたこと、考えたこと、学んだことを聞き手に伝わるよう発表しました。

●大坂上中学校

『自分たちで探した職場体験先で学んだこと』

自分たちで、体験させてくださる職場を探し、そこで得たこと、働くことについて考えたこと、学んだことを発表しました。

●日野第三小学校

『日野大好きプロジェクト』

地域の方々と学んだことを生かしながら、自分たちで課題をもち発表することで地域に還元していきたいと考えています。

●滝合小学校

『わたしたちのまち日野市・滝合地区(命のかがやき)』

滝合地区の豊かな自然に恵まれたのどかな「宝箱」のような

地域を他の人にも知ってもらいたいという思いをもって発表しました。

●日野第一小学校

『だれもが安心してくらせるまちを目指して』

学区の安全について学びながら、誰もが安心して暮らせるまちにするために、どうしたら良いか、自分たちなりの考えを発表しました。

●潤徳小学校

『わくわく「米作り」』

地域や保護者の方に支えられて大切に育ててきたお米に関わることを、一人一人が思いをのせて一学期から取り組んだことを発表しました。

●日野第五小学校

『住みよい町をつくりたい』

住みよい町とは、誰にとっても住みよい町なのかを考え、子供や大人だけでなく、高齢者や障がい者の方々に話を聞いて考えたことを発表しました。

●日野第六小学校

『防災学習「命を守るために」』

4年生の社会科の「事故・事件のないまちを目標として」の学習から、さらに地域に目を向けて調べたことをまとめて発表しました。

●日野第四小学校

『さまざまな人たちが地域でよく過ごすために』

視覚障害を抱える方と実際にふれあう中で、誰もが安心して生活できる日野市にするための考えや思いを発表しました。

●仲田小学校

『仲田水田プロジェクト』

稲作について、体験をもとに様々な視点から探究活動を行い、用水路の果たす役割や、改めて

気付いた郷土のよさについて発表しました。

●豊田小学校

『あいさつ運動の取組について』

なぜ自分たちが「あいさつ運動」を行おうと思ったのか、その先にもどのような活動をしたのかという過程を手作りのイラスト等を入れて発表しました。

●平山小学校

『平小PR大作戦』

自分たちの学校の魅力を調査し、話し合いながら、さらに魅力的にしていこうための自分たちの思いや願いを代表委員会でまとめ、発表しました。

●七生中学校

『職場体験』

職場体験で得た労働の意義や充実感を自分の言葉でまとめました。自分たちが働く時代にも目を向け、発表しました。

●日野第二中学校

『職場体験報告』

体験から「相手のことを考えて行動する」「命の大切さ」「働くことと夢」について学び、それを学校生活でどう実践していくか発表しました。

子供たちが地域の中で学びながら感じた疑問や発見から、考えを深めることができた過程を大勢の人たちに向けて発表することができました。子供たちは達成感を味わい、自信をつけたことと思います。

伝える力を高めることに加え、様々な発表から学び合う貴重な体験にもなりました。参加していただいた学校、保護者、地域の皆様に感謝申し上げます。



日野から世界へ 中学生国内留学体験を終えて

12月26日～28日までの3日間、市内中学校の生徒20名が、福島県岩瀬郡天栄村にある「ブリティッシュヒルズ」を訪れ、国内留学体験を行いました。この国内留学体験は、東京日野ロータリークラブと日野市教育委員会との共催で実施している事業で、今年度で第17回となります。

これからの社会では、自分たちの進むべき道を自分で見つけていくことが大切です。日野市教育委員会では、昨年の3月に策定した第3次日野市学校教育基本構想で、子供たち自身が育んでいってほしい力を「すべての『いのち』がよるこびあふれる未来をつくっていく力」としました。英語教育においては、将来子供たちが英語を活用していくために必要な実力を身に付けるための環境の構築を目指し、小・中学校での連続性をもった英語教育の充実や、体験型英語教育の実施を推進しています。



生徒たちは、英語を使ったコミュニケーションを行う中で、英語で自分の考えを伝えることの楽しさを学びました。初めは緊張していましたが、自分の伝えたいことが講師や友達に伝わることが実感できると、次第に自分から英語によるコミュニケーションを楽しむようになりま

3日間の研修を通して、生徒たちは英語によるコミュニケーションの楽しさを知り、「もっと英語で話せるようになりたい」「外国の文化や習慣を実際に確かめたい」という思いを強くしていました。

この中学生国内留学体験の実施に向けて、東京日野ロータリークラブ、日野市立中学校の先生方をはじめ、多くの皆様に御支援に心より感謝申し上げます。



代表として参加しました。中学校時代に国内留学を経験したことで自分に自信がもてるようになり、その後様々なことに挑戦できるようになった経験を、今の中学生にも伝えたいという思いをもって参加していました。生徒たちにとって身近なモデルとなる先輩方と関わったことも、大きな財産になったことと思います。

ひのっ子 がんばってまます

(学校課)

日野第一小学校

エレクトーンアンサンブル演奏コンテスト部門 金賞 受賞
5年生 蒲池 由門さん



蒲池由門さんは、「エレクトーンフェスティバル2019アンサンブル演奏部門東京地区ファイナル」において、8人の仲間と共に、金賞を受賞しました。一人一人が自分の役割を認識し、心を合わせて演奏することができたと話していました。

日野第八小学校

たちばな学級
総理大臣官邸特別見学



たちばな学級5、6年生が総理大臣官邸特別見学へ行ってきました。この日は安倍首相が参加する会議が行われており、一瞬ですが総理の姿を見ることができました。官邸見学では、組閣の記念撮影が行われる段階で同じように記念撮影ができました。「令和」の額を持ち新元号の発表の様子を再現できたりと、楽しみながら政治が動く現場を体験することができました。

滝合小学校

「たきあい塾」
滝合小学校では、年間20回、毎週火曜日の放課後に、2～6年の児童を対象に「たきあい塾」

南平小学校

「第17回下田歌子賞 短歌の部」
本校児童と南平小学校が受賞



本校児童と南平小学校が受賞の朝に「俳句作り」の時間を設けるなど、短歌や俳句等の創作活動に全校で取り組んでいます。今年度も第17回「下田歌子賞 短歌の部」に児童の作品を応募したところ、6年生児童の作品が「入選」に選ばれました。

東光寺小学校

令和元年度
「心のバリアフリー」普及啓発ポスターコンクール「優秀賞(小学生の部)」を受賞



本校4年生の吉田奈央さんは周囲の様子によく「気づき」、友達に自然に優しくできる児童です。この度、小学生376点の応募中、6作品に見事選ばれました。誰もが暮らしやすい社会の第一歩、困っている人を見かけたら声を掛けることの大切さをポスターに表しました。吉田さんから発信したこのポスターが、東京都民の心に届き、一人一人が行動に移し、温かい東京都になることを願っています。

仲田小学校

第87回全国書画展覧会の書の部
で「特選」と「金賞」と「銀賞」を初受賞



本校では、13名の児童が、第87回全国書画展覧会の書の部に応募しました。高円宮杯(12名応募)に続き、さらにやる気を出し、みんな熱心に取り組みました。結果は、特選1名、金賞8名、銀賞4名の入賞になりました。今回の結果を励みに、いろいろなコンクールに応募して、書写の力をつけていきたいです。

日野第一中学校

陸上部・野球部・男子バスケ部
ト部が大会上位に進出!
①陸上部「第72回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会」

1年女子 400mリレー
第1位
清水美桜さん、小俣音替さん、大高虹香さん、佐藤柚香さん

②野球部「第72回東京都中学校野球秋季大会」第3位(B EST4)
*春・夏の都大会シード権獲得!

③男子バスケ部「第72回東京都中学校バスケットボール新人大会」第3位(B EST4)

日野第四中学校

地域での活動
12月7日に旭が丘中央公園で開催されたたきき祭に、四中から約30名のボランティアスタッフが、焼き芋配布・出店手伝い・子ども広場のスタッフとして参加し、様々な方との交流を図りました。

12月8日にイオンモール多摩平の森で開催された障害者週間イベント「いっしょに」では、四中から4名の生徒が、「共生社会の一員 人と人との関わり」の広がり」というテーマで、障害者の方とのラジオ体操を通じた交流を行いました。

これからも地域の一員として、様々な活動に参加していくと思えます。



教育センター

大学や企業と連携して最先端技術を活用した
理数授業特別プログラムを実施しています。

子供たちの理科の学力向上には、まず科学的な事柄に興味関心をもってもらうことが必要です。そこで、本市では地元や近隣の大学や高等専門学校、そして企業と連携し、小中学生への理数授業特別プログラムを実施しています。今年度も企業、学校等と連携し、3種類の特別授業を実施しています。その中から「電子顕微鏡を用いたミクロの世界」の授業についてご紹介します。

日時 12月4日(水)・5日(木)実施

委託先 日本電子株式会社

技術顧問 近藤 俊三博士

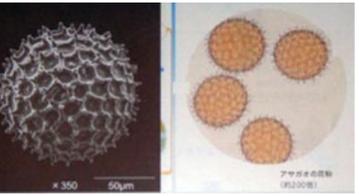
シニアアドバイザー

岡部 康 様

他家 日野第四中学校1年生

①顕微鏡の歴史

メガネの発明から凸レンズを2枚重ねて望遠鏡の発明へ。自作の望遠鏡で天体を観測したガリレオ・ガリレイは有名ですね。そしてそれを反対からのぞくと小さなものを拡大して見られることから顕微鏡の発明へ。さらに光ではなく電子を使用した電子顕微鏡へと発展してきました。



ガラスのレンズを使う光学顕微鏡では、例えば球状の物はピントを手前に合わせるか奥にするかで見え方が変わります。

電子顕微鏡はピントの合う範囲が広いので、手前も奥も明瞭に見える、対象物の全体像を把握することが出来ます。

⑤植物の花粉や花弁の拡大
肉眼では点にしか見えない花粉も、電子顕微鏡で拡大するとテニスボール形、ハンバーグ形。花弁も昆虫が止まりやすいように凹凸があったり、表面に気孔があったりと立体的に観察できる電子顕微鏡ならではの観察

⑥マウスの顔の形成過程

初期の電子顕微鏡は人の背丈よりも高く、中には学校の4階まで吹き抜けにしないと設置できない物もありました。ですが、最近では、机上に設置できて子どもたちにも扱えるものが見つ

られています。

③顕微鏡の大きさ

④電子顕微鏡の仕組み

電子顕微鏡は電子の反射を受け止めて映像化するため、100万倍までの観察が可能になります。

電子顕微鏡の仕組み

電子顕微鏡の仕組み

電子顕微鏡の仕組み

電子顕微鏡の仕組み

電子顕微鏡の仕組み

近藤先生の研究テーマで、マウスの顔の形成過程をわかりやすく説明いただきました。
⑦生物の観察から学ぶ
ハスの葉の表面の観察からはヨーグルトの着かないふたを、カワセミの水に飛び込む流線型からは新幹線の先端の形を参考にしているそうです。

⑧電子顕微鏡体験
電子顕微鏡で拡大した映像を写真で印刷し、一人ひとり体験しました。順番を待つ間は樹脂で固めた小動物の標本をスケッチしたり、立体眼鏡で飛び出す映像体験をしたりしました。

⑨令和元年度日野市立教育センター活動報告・調査研究事業の発表会を実施します。

令和元年度日野市立教育センター活動報告・調査研究事業の発表会を実施します。

学校課

算数大好きプロジェクト
廣田 敬一先生による「小学生土曜算数教室」

小学校6年生が論理的に考える力を高める算数の問題に挑戦しました。

毎週報告し、説明していただきます。

また、全然分からない事がある方もスタッフの方々が分かりやすく楽しく接してくれるので、だんだんと理解できるようになりました。ふだんの生活に、ちよっと頭をひねるような問題を解く時間が好きでした。

(日野第四小 國香 来実さん)

土曜算数教室に参加して授業を受けてみると、説明は分かりやすく、先生方は優しく教えてくれるので、最終的には必ず原理から理解できるようになりました。

最も印象に残った回は、第6・7回の「スパイロラテラル」です。なぜなら、四角や三角の美しい形に気を引かれたのと、図形から規則性を見つけ出す所が面白かったからです。

この土曜算数教室で最も大きく学ぶことができたのは、ありとあらゆるものから規則性を見つけ出すことだと思いました。

12月14日(土)には、今年度最後の算数教室と閉講式を行い、受講者を代表して3名が感想を発表しました。

廣田 敬一先生による進行

廣田 敬一先生を講師に土曜算数教室を開催しました。市内で希望した6年生児童56名が、4月から12月までの9回にわたって、論理的に考える力を高める算数の問題に挑戦しました。

12月14日(土)には、今年度最後の算数教室と閉講式を行い、受講者を代表して3名が感想を発表しました。

土曜算数教室では、少し頭をひねらないと分からない問題がたくさんありました。ただのたし算だったり、カードだったり、1本ずつ長さを変えた形だったり、

「あれ、簡単そうじゃん。」と思ってもとても難しく、おどろく所に規則がありました。それを見つけていく事が楽しく、

毎週報告し、説明していただきます。

また、全然分からない事がある方もスタッフの方々が分かりやすく楽しく接してくれるので、だんだんと理解できるようになりました。ふだんの生活に、ちよっと頭をひねるような問題を解く時間が好きでした。

(日野第四小 國香 来実さん)

土曜算数教室に参加して授業を受けてみると、説明は分かりやすく、先生方は優しく教えてくれるので、最終的には必ず原理から理解できるようになりました。

最も印象に残った回は、第6・7回の「スパイロラテラル」です。なぜなら、四角や三角の美しい形に気を引かれたのと、図形から規則性を見つけ出す所が面白かったからです。

この土曜算数教室で最も大きく学ぶことができたのは、ありとあらゆるものから規則性を見つけ出すことだと思いました。

12月14日(土)には、今年度最後の算数教室と閉講式を行い、受講者を代表して3名が感想を発表しました。

廣田 敬一先生による進行

廣田 敬一先生を講師に土曜算数教室を開催しました。市内で希望した6年生児童56名が、4月から12月までの9回にわたって、論理的に考える力を高める算数の問題に挑戦しました。

12月14日(土)には、今年度最後の算数教室と閉講式を行い、受講者を代表して3名が感想を発表しました。

土曜算数教室では、少し頭をひねらないと分からない問題がたくさんありました。ただのたし算だったり、カードだったり、1本ずつ長さを変えた形だったり、

「あれ、簡単そうじゃん。」と思ってもとても難しく、おどろく所に規則がありました。それを見つけていく事が楽しく、

毎週報告し、説明していただきます。

また、全然分からない事がある方もスタッフの方々が分かりやすく楽しく接してくれるので、だんだんと理解できるようになりました。ふだんの生活に、ちよっと頭をひねるような問題を解く時間が好きでした。

(日野第四小 國香 来実さん)

土曜算数教室に参加して授業を受けてみると、説明は分かりやすく、先生方は優しく教えてくれるので、最終的には必ず原理から理解できるようになりました。

最も印象に残った回は、第6・7回の「スパイロラテラル」です。なぜなら、四角や三角の美しい形に気を引かれたのと、図形から規則性を見つけ出す所が面白かったからです。

この土曜算数教室で最も大きく学ぶことができたのは、ありとあらゆるものから規則性を見つけ出すことだと思いました。

12月14日(土)には、今年度最後の算数教室と閉講式を行い、受講者を代表して3名が感想を発表しました。

廣田 敬一先生による進行

廣田 敬一先生を講師に土曜算数教室を開催しました。市内で希望した6年生児童56名が、4月から12月までの9回にわたって、論理的に考える力を高める算数の問題に挑戦しました。

12月14日(土)には、今年度最後の算数教室と閉講式を行い、受講者を代表して3名が感想を発表しました。

土曜算数教室では、少し頭をひねらないと分からない問題がたくさんありました。ただのたし算だったり、カードだったり、1本ずつ長さを変えた形だったり、

「あれ、簡単そうじゃん。」と思ってもとても難しく、おどろく所に規則がありました。それを見つけていく事が楽しく、

毎週報告し、説明していただきます。

また、全然分からない事がある方もスタッフの方々が分かりやすく楽しく接してくれるので、だんだんと理解できるようになりました。ふだんの生活に、ちよっと頭をひねるような問題を解く時間が好きでした。

(日野第四小 國香 来実さん)

土曜算数教室に参加して授業を受けてみると、説明は分かりやすく、先生方は優しく教えてくれるので、最終的には必ず原理から理解できるようになりました。

最も印象に残った回は、第6・7回の「スパイロラテラル」です。なぜなら、四角や三角の美しい形に気を引かれたのと、図形から規則性を見つけ出す所が面白かったからです。

この土曜算数教室で最も大きく学ぶことができたのは、ありとあらゆるものから規則性を見つけ出すことだと思いました。

私は今までよりもずっと算数が好きかつ得意になることができました。

(日野第五小 佐久間 勇輔さん)

最初の算数教室の日、学校で習っていないことだったので、少し難しいと思いました。授業のあと、同じクラスの人も参加していることを知り、それから

算数教室の日、一緒に考えたりしました。

授業は少し難しいと思っていたけれど、クラスの人と考えているうちに、少しずつ楽しくなってきました。市松模様の授業では、法則を考えながら市松模様を作っていく、法則を見つけた時に綺麗な市松模様が出来て楽しかったです。他の授業でも問題から色々考えていくうちに法則が分かり、嬉しかったです。とても楽しく、4科目の中で算数が一番好きになりました。

(潤徳小 渡邊 亜紀さん)

2月2日(日)第11回中学生「東京駅伝」大会が調布市にあるアミノバイタルフィールド(味の素スタジアム内)・都立武蔵野の森公園特設周回コースにて開催されます。

日野市の中学2年生の代表選手が、襷に仲間の思いを込めて走ります。

代表選手は、11月27日(水)市内の全中学校が参加して行われた選手選考会で選ばれた男子21名、女子21名の総勢42名です。12月14日(土)に日野第一中学校にて結団式を行い、チームとしての団結を深めました。

合同練習では、コニカミノルタ陸上競技部のコーチから御指導をいただき、互いに声を掛け合いながらチーム一丸となって、練習の成果を発揮できるように準備しています。皆様の応援をよろしくお願いたします。

第11回中学生「東京駅伝」

2月2日(日)第11回中学生「東京駅伝」大会が調布市にあるアミノバイタルフィールド(味の素スタジアム内)・都立武蔵野の森公園特設周回コースにて開催されます。

日野市の中学2年生の代表選手が、襷に仲間の思いを込めて走ります。

代表選手は、11月27日(水)市内の全中学校が参加して行われた選手選考会で選ばれた男子21名、女子21名の総勢42名です。12月14日(土)に日野第一中学校にて結団式を行い、チームとしての団結を深めました。

合同練習では、コニカミノルタ陸上競技部のコーチから御指導をいただき、互いに声を掛け合いながらチーム一丸となって、練習の成果を発揮できるように準備しています。皆様の応援をよろしくお願いたします。

図書館
令和元年度中学生と作家の交流事業
「わたし、気になります」開いてみよう読書の扉
米澤穂信さん講演会を開催しました

日野市内各中学校の代表生徒24名が企画した講演会を11月4日(月)に多摩平の森ふれあい館にて開催しました。中学生による司会進行のもと、あつとという間の2時間でした。



◆「発見!のぞき魅!米澤さんの本の魅力」コーナー

米澤さんの作品のあとがきやあらすじから、中学生スタッフがクイズを出題しました。正解と併せて作品の魅力なども紹介し、工夫した正解発表には会場から笑いが起こっていました。

◆米澤穂信さんの講演

集英社の担当編集者、栗原佳子さんと登壇され、中学生の頃の読書や学生生活について話してくださいました。中学生に向けて「中学生は、たくさん可能性の中から自分に合うものを探して選択していく段階。選択することとは他の可能性を捨てること。怖いことかもしれないが、臆せず自分と向き合ってみてほしい」というメッセージをいただきました。

◆「創作話、創バナ」コーナー

中学生スタッフが作ったオリジナルの物語を2チームに分かれて発表し、最後に米澤さんから感想をいただきました。アンケートでも「面白かった!」と好評でした。

◆「米澤さんのココが知りたい!」コーナー
米澤さんに関する三択クイズを行い、米澤さんにお答えいただきました。最後に「ポンコツ刑事」ポーカーの謎を「追え!」と名付けた、中学生考案の推理クイズを出題しました。米澤さんは見事正解!会場の皆さんも真剣に推理されていました。

◆代表生徒との懇談会
講演会終了後、中学生スタッフが米澤さんと栗原さんを囲んで懇談会を行いました。創作に関する質問や、米澤さんが最近読んで面白かった本、読書が苦手な人への本の勧め方など、様々な質問が挙がりました。米澤さんは生徒一人ひとりの自己紹介や質問に笑顔で耳を傾けてくださり、充実した1時間となりました。

◆今回の企画について
参加した生徒からは、「他校に新しい友人ができて良かった」「作家と話せて貴重な経験だった」「これからも講演会を続けてほしい」等の感想がありました。



郷土資料館・中央公民館・図書館・新選組のふるさと歴史館・生涯学習課
生涯学習 学びの場プロジェクト
「歩こう・調べよう・ふるさとをよせ」

昨春、小学校3年以上に配布された『歩こう・調べよう・ふるさと七生』をご覧になりましたか?

現在の百草・落川・三沢・高幡・程久保・南平・平山地区は昭和33年(1958)に日野町と合併するまでは「七生村」と呼ばれていました。

中央公民館
第13回 ひのっ子シェフコンテストが開催されました

今年もたくさんのお応募があり、書類審査で選ばれた6グループが11月24日(日)、ひのっ子シェフコンテストの本選に挑みました!

「栄養士と給食調理員により選ばれた特別賞」のメニューは、市内各中学校の学校給食として全校で提供される予定です。その他の応募レシピも続々と給食メニューに登場するなど、今後の給食が楽しみです。



の本を活用して、郷土資料館・中央公民館・図書館・新選組のふるさと歴史館・生涯学習課が協力しあって「学びの場プロジェクト」を始めました。

この企画は、参加者が歩いて見て聞くだけの受け身の現地見学会ではなく、アドバイザーの話や参考にしたがって実際に現地を見て歩くことで、参加者自身が「考え」「語る」という双方向的な学びを目指しました。春は「ほくほく小僧藤蔵とかくれ穴」、夏は「初夏の真慈悲



現地でアドバイザーの話を聞く

寺と百草画荘) 秋は「高幡界限ー今・昔ー」、晩秋は「平山季重と平山遺跡」をテーマに、四季折々の七生地区の歴史と自然を学びました。

<p>銀賞</p> <p>やさいたつぷり じゃがりんご</p> <p>豊田小学校 4年生 小川 日菜子さん 岡野 紗奈さん 中村 愛蘭さん</p>	<p>銀賞</p> <p>Oh! 麦 うまコクひのベジシチュー</p> <p>豊田小学校 5年生 小峰 和英さん</p>	<p>金賞</p> <p>変身!日野野菜いたつぷりクリーム大豆コロッケ</p> <p>豊田小学校 6年生 西山 咲花さん 森山 玲奈さん 加藤 るなさん</p>
<p>銅賞</p> <p>おやおや?おやさ!おやおや?おやき!!</p> <p>潤徳小学校 5年生 角山 生海さん 宮崎 菜さん</p>	<p>銅賞</p> <p>ひのっ子 炊き込みごはん</p> <p>日野第三小学校 6年生 小川 音緒さん 寺本 柚羽さん 牧内 里紗さん</p>	<p>銅賞</p> <p>まるごと! 秋の味かくグラタン</p> <p>豊田小学校 4年生 太田 朋杏さん 池部 愛央さん 井上 ひなたさん</p>



生涯学習課
家庭教育学級講演会を開催しました

第2回家庭教育学級講演会を12月1日(日)に七生公会堂にて実施いたしました。

「スマホ時代の子どもたち」というテーマで、スマホ等を扱う児童・生徒の数が増加している昨今、スマホを取り巻く環境や保護者の対応、子どもとのコミュニケーションの取り方等について講師よりお話をうかがいました。

当日は90人ご参加のもと、講師の身振り手振りを交えたお話で、盛況の内に終えることができました。

来年度も児童・生徒の保護者など家庭教育の担い手の教育力向上に資する講演会を実施する予定です(内容は未定)。



冬のたよりをお届けします。★

ご予約・お問合せは、
フリーダイヤル 0120-489-571 (大成荘直通)

八ヶ岳高原大成荘 検索